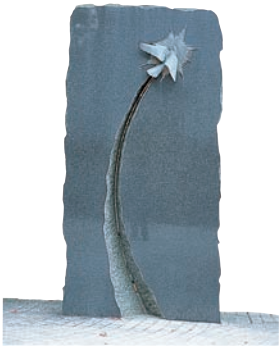




宮沢賢治記念館



〈よだかの星彫刻碑〉

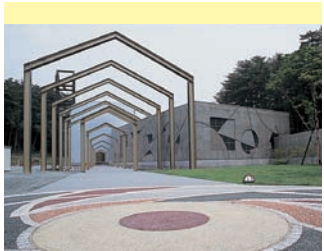
宮沢賢治の深遠な思想や世界観、気高い祈りや願いは、生涯を貫ぬくさまざまな表現と行動になって姿を現しました。深い思いに裏付けられた多彩な試みを理解することは容易ではありません。本館の展示では、その世界観や宇宙観を支える「心象」を鍵に、心象世界の映像を導入として、「科学」「芸術」「宙（そら）」「祈」「農」の5つの部門によって表現と事績の具体像に迫り、合わせて時代や地域等との関わりであるフィールドや後に続く若い人びとに託した願いなどを添えて、全体像を感じとっていただけるようにしています。さまざまな資料と多くの作品とを手がかりに、宮沢賢治が見たまことの世界、イーハトーブの心象世界に触れてくださいますようお願いいたします。

TO THE VISITORS

Miyazawa Kenji's deep thoughts and lofty aspirations expressed themselves as multifarious works of art and social activities. Our exhibitions aim to present a survey of these, focusing on five essential aspects: Science, Art, Cosmos, Religion, and Agriculture. Each is introduced by a video showing relevant 'mental images', to lead you to specific instances of Miyazawa's art and deeds. We also present his Time, Place, and Family, as well as his Message to generations to come. We sincerely hope that you will get an impression of the World of the True as Miyazawa envisioned it, and be able to glimpse images of the country of 'Ihatov' that was so important to this artist.



宮沢賢治イーハトーブ館
賢治研究者・愛好者が交流し、
情報を発信する拠点施設



宮沢賢治童話村
ファンタジックな賢治童話の世
界を体験する「楽習」施設

記念館の概要

■施設概要及び展示案内

- 鉄筋コンクリート 1,135㎡
- 常設展示室
- 特別展示室
- 賢治サロン 喫茶コーナー
- 多目的ルーム 事務室ほか
- 展望ラウンジ
- 岩手県ガラス地図 地理の表・歴史の表
- 宮沢賢治心象の世界 映像

■利用案内

開館時間 午前8時30分～午後5時まで（午後4時30分までに入館下さい）
休 館 日 12月28日～1月1日

入 館 料	区 分	個 人	20人以上の団体	宮沢賢治童話村、花巻市博物館、花巻新渡戸記念館との共通入館券もご利用いただけます（イーハトーブ館は入館無料です。）
	小学生・中学生	150円	1人につき 100円	
	高校生・学 生	250円	1人につき 200円	
	一 般	350円	1人につき 300円	

■交通案内

新幹線新花巻駅より2km 車で3分・バスで3分
東北本線花巻駅より8km 車で15分・バスで20分
（バスは新花巻駅・花巻駅より1時間毎に運行・記念館口下車）
東北自動車道
・花巻インターチェンジより9km 車で20分
・花巻南インターチェンジより9km 車で20分
・花巻空港インターチェンジより5km 車で10分
・いわて花巻空港より約6km 車で15分

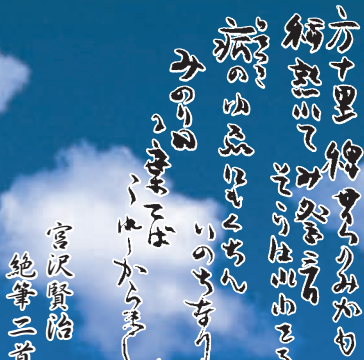
■案内図



所在地 〒025-0011 花巻市矢沢1-1-36 TEL 0198(31)2319

FAX 0198(31)2320

ホームページ <http://www.city.hanamaki.iwate.jp>



宮沢賢治
絶筆三首

宮沢賢治生誕100年
明治29（1896）年 誕生 8月27日（戸籍簿では8月1日）
花巻川口町に出生。父政次郎（22歳）の長男。家業は祖父喜助開業の質・古着商。・三陸大津波。陸羽大地震。
明治31（1898）年 2歳 妹トシ出生。
明治32（1899）年 3歳 仏教篤信の家庭で伯母ヤギの称える「正信偈」や「白骨の御文章」を暗誦。・若手県に赤痢流行。
明治34（1901）年 5歳 次妹シゲ出生。
明治35（1902）年 6歳 赤痢を病む。
明治36（1903）年 7歳 町立花巻川口尋常高等小学校に入學。
明治37（1904）年 8歳 小学二年生。弟清六出生。・日露戦争開始。郷土部隊動員。
明治38（1905）年 9歳 小学三年生。・日露終戦。東北凶作。
明治39（1906）年 10歳 小学四年生。父らの花巻仏教会夏期講習に参加。・東北大飢饉窮民多数。
明治40（1907）年 11歳 小学五年生。末妹クニ出生。鉱物好きで「石」賢さん」といわれる。・戦後恐慌。
明治41（1908）年 12歳 小学六年生。・大演習で皇太子来盛。
明治42（1909）年 13歳 県立盛岡中学校入学。寄宿舎生活。鉱物や植物採集に熱中。・伊藤博文暗殺。
明治43（1910）年 14歳 中学二年生。若手山に初めて登る。その魅力に後年頻りに登る。・ハレハ彗星出現。
明治44（1911）年 15歳 中学三年生。短歌制作開始。哲学書愛読・薩摩琵琶流行。・アムンゼン南極到達。日本白瀬隊南極探検。
明治45・大正元（1913）年 16歳 中学四年生。松島仙台方面修学旅行。海を初めて見る。数異抄に感動。・花巻に電灯つく。英船タイタニック号沈没事件。石川啄木没。
大正2（1913）年 17歳 中学五年生。舎監排斥運動四・五年全員退寮。寺院に下宿。北海道修学旅行。ロシア文学愛読。願教寺島地大等の法話を聞く。・花巻に電話開通。若手県大凶作。
大正3（1914）年 18歳 盛岡中学校卒業。若手病院で鼻の手術。初恋。『漢和対照妙法蓮華経』に深く感動。・第一次世界大戦開始。
大正4（1915）年 19歳 盛岡高等農林学校首席入学。寄宿舎生活。級長。『化学本論』愛読。・若手軽便鉄道開通。
大正5（1916）年 20歳 特待生。関西修学旅行。上京。ドイツ語受講。・タコロール来日。アインシュタイン一般相対性理論発表。
大正6（1917）年 21歳 三年生。特待生。旗手。級長。下宿。『アザリア』発刊。江刺郡地質調査。・ロシア革命。
大正7（1918）年 22歳 高農研究生。徴兵検査。兵役免除。稗貫郡土性調査。童話創作開始。在京中のトシ病み。上京して看病。・世界大戦終結。全国米騒動。
大正8（1919）年 23歳 人造宝石業など計画。妹快復帰宅。浮世絵収集。無署名「手紙」を配る。・ベルサイユ講和条約。
大正9（1920）年 24歳 高農研究生修了。国柱会入会。妹トシ花巻高等女学校教諭となる。・日本初メーデー。第一回国勢調査人口五五九六万余。
大正10（1921）年 25歳 父の改宗ならず家出上京。自活しつつ国柱会奉仕活動。『法華文学』創作。上京の父と伊勢比叡奈良旅行。トシ病気の報で帰宅。稗貫農学校教諭。・原敬暗殺。
大正11（1922）年 26歳 農学校教諭。藤原嘉藤治と親交。学校の精神歌や応援歌を作り自作劇上演。11月27日妹トシ24歳で永眠。・ソ連邦成立。アインシュタイン来日。
大正12（1923）年 27歳 県立花巻農学校教諭。上京。東京社への童話持ちこみは拒否される。農学校新築移転県立昇格。自作劇上演。樺太への旅。挽歌群制作。・花巻病院。花巻温泉開業。関東大震災。
大正13（1924）年 28歳 花巻教諭。心象スケッチ『春と修羅』童話集『注文の多い料理店』刊行。生徒と北海道修学旅行。花巻温泉。花巻病院の花壇造る。
大正14（1925）年 29歳 花巻教諭。三陸旅行。草野ハ平「銅鐺」同人に。東北大坂博士とイギリス海岸クルミ化石採集。
大正15・昭和元（1926）年 30歳 花巻に開設の国民高等学校で講義。花巻依願退職。下根子の別宅で独居自炊生活。羅須地人協会設立。年末上京セロ、タイプ、エスベラントなど特訓。フィンランド公使と面談。高村光太郎を訪問。・NHK設立。
昭和2（1927）年 31歳 羅須地人協会活動。花巻温泉南科花壇を造る。肥料設計書二千余枚書く。労働党神和支部を支援。・銀行取付金融恐慌。芥川龍之介自殺。
昭和3（1928）年 32歳 肥料稲作巡回相談。上京。伊豆大島に伊藤兄妹を訪問。夏旱天で稲作指導に奔走。発病。急性肺炎（1928）。・第一回普通選挙。
昭和4（1929）年 33歳 病床に中国の詩人黄鳳陸士校生、東北砕石工場主鈴木東蔵来訪。文語詩制作。高等数学勉強。・世界経済恐慌。インド詩聖タゴール再来日。
昭和5（1930）年 34歳 病状小康。東北砕石工場訪問（秋）。・昭和恐慌。浜口首相テロ事件。軍部勢力激化。
昭和6（1931）年 35歳 砕石工場技師嘱託。石灰販売に奔走。稲作不良予想記事発表。石灰宣伝上京中発病。遺書かく。帰宅療養。・不況失業者多数。東北冷害。娘身売り増満州事変起こる。
昭和7（1932）年 36歳 病床。砕石工場や肥料設計の相談に応答。高等数学独習。作品推敲。俳句作る。菜食を続行して衰弱。・上海事変。満州国建国。
昭和8（1933）年 37歳 病床。肥料相談継続。文語詩推敲。9月氏神祭礼の神輿を拝す。急性肺炎の徴候。短歌二首絶筆。来訪の肥料相談に应对疲勞。21日容態急変。『国訳妙法蓮華経』千部刊行頒布を遺言し永眠。法名「真金院三不日賢善男子」。墓地は花巻市日蓮宗身照寺。・三陸大地震津波。日本国際連盟脱退。ドイツ、ヒトラー内閣。

宮沢賢治生誕100年

Science

宮沢賢治は科学に深い理解をいだく人でした。盛岡高等農林学校で地学や農学や化学をおさめました。アインシュタインの相対性理論など新しい二〇世紀科学を学び、豊かな自然と四次元宇宙を科学的な視点でとらえました。銀河系宇宙をつらぬく、まことの道を実証しようとした。



坐像（大正13年）
花巻農学校教諭時代。上着は鹿皮の陣羽織を仕立て直したもの。

Art

宮沢賢治は、それまでに誰も思いつかなかった考えと方法によって、多くの作品を生み、多彩で独自の世界をつくりだしました。詩約八百篇、童話約百篇、短歌約九百首、それに俳句、歌曲、戯曲、短篇、絵画、教材用絵図、花壇設計などが、『新校本宮澤賢治全集』に収められています。人生そのものを総合芸術として受けとめる感じ方には、オペラや同時代に展開してきた映画表現との深い共鳴もありました。



信仰団体国柱会の本尊「十界曼陀羅」。賢治に授与された。



賢治が愛した
当時の岩手軽便鉄道。



賢治の父
宮沢政次郎と
母イチ。



Cosmos

宮沢賢治は、「イーハトヴ」（イーハトブ）を「著者の心象中に、この様な風景をもつて実在したドリームランドとしての日本岩手県である。」と説明しました。ここでは、罪や悲しみでさえきよくきれいに輝き、田園の風や光にみちあふれていました。銀河の空間、四次元宇宙のただ中で、その不思議な楽しい国土から心象スケッチとしての詩や童話が生まれました。



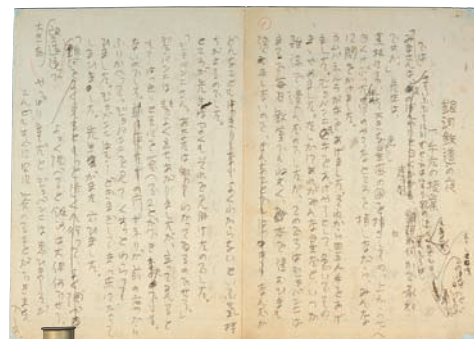
心象スケッチ「春と修羅」
大正13年4月に自費で出版。



島地大等編「漢和対照妙法蓮華経」および高農時代から座右において大切に読誦した「日蓮聖人御遺文」



盛岡高農時代に採集した
岩石標本。



後期形草稿第一葉
童話「銀河鉄道の夜」



鉱石採集に
使った顕微鏡。



稗貫郡西部山地の地質図
賢治自筆のルートマップ



花壇設計
ノート・メモ・フクロ・スクラッチ・涙ぐむ目
設計図。

宮沢賢治は妙法蓮華経に深く感動して、そのまことの精神を生きた人です。天性の鋭敏な感受性と表象力で、法華経の教えに近代科学の知見を加えて創作し、当時の苦勞の多い農村生活を明るく豊かにするため力を尽くしました。その生涯は菩薩行そのものであったといえるでしょう。

Religion

Agriculture

宮沢賢治は、盛岡高等農林学校を卒業後、様々な家業を模索しましたが、大正一〇（一九二一）年から郷里花巻で農学校教師となり、農村生活の実情に対する認識を深め、やがて羅須地人協会をひらきます。農業と農村に科学と芸術を生かした新しい文化をもたらしそうとして、農民教育に肥料設計に稲作指導に力を尽くしました。病院、回復後の東北砕石工場技師時代も最晩年の病院時代にも農村に対する献身への思いは変わりませんでした。



銀河系
（C・セーガン「コスモス」による）
私の銀河系を、ななめ上から見た想像図



生前に愛用したセロ。
賢治は上京しており、
新交響楽協会にて
特訓を受けた。



童話「雁の童子」のモデルとなった「有翼の天使」。イギリス人スタインガシルクロードの要所ミランにおいて発掘。

Miyazawa Kenji's Time, Place, and Family

宮沢賢治のフィールド

賢治の時代・地域・家族・知人といった賢治の周辺を紹介。また、さまざまな人に向けた賢治のメッセージにスポットを当て、人間賢治を紹介します。



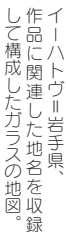
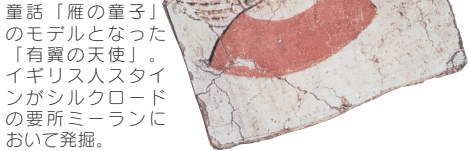
日輪と山（水彩画）
宮沢賢治画。



愛聴のベートーヴェンの
「第6交響曲・田園」な
どレコード・アルバム



右、「注文の多い料理店」大正十三年十一月発行。生前刊行された唯一の童話集。左「岩手県」分ち・原子・電子」（自筆教材絵図）



展示コーナー

In 1921 Miyazawa became a teacher of the agricultural school in his hometown, Hanamaki. There he deepened his understanding of the situation of local farmers. After resigning from school, he organized the Rasu Farmers Association in order to promote and offer agricultural science education, fertilizer planning, and cultural activities. Even in his later life, although repeatedly stricken with illness, Miyazawa's compassion for farmers never waned.

Miyazawa was profoundly moved by the Lotus Sutra. His literary works are imbued with its spirit in a manner not opposed to modern science, transported by his innate sensibility and imagination. In this way he further tried to help improve the miserable condition of farmers. Miyazawa's was the life of a bodhisattva.

Miyazawa explained 'Ihatov' as 'Iwate Prefecture as a dreamland that exists in my imagination', where 'even sins and sorrows shine transparently'. Many poems and stories as 'sketches of mental images' emerged out of that wonderful land, spurred by an awareness of the Four-Dimensional Galactic Cosmos.

Miyazawa's artistic creations are unprecedented as to both ideas and methods. His Collected Works comprise around 800 poems, 100 stories, and many other pieces of varying genre. He aspired to turn rural life itself into a Composite Art.

At Morioka Higher Agricultural School, Miyazawa studied geology, agricultural science, and chemistry. Taking inspiration from Einstein's theory of the Four-Dimensional Universe, he groped for a vision of the synthesis of science and religion.